

2016 Summer Intern Report

International Monetary Fund Regional Office of Asia and Pacific



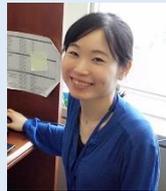
インターンのことを知る 10 の質問

国際通貨基金アジア太平洋事務所は、1997年に設立され、アジア太平洋地域における経済・金融のモニタリング、経済政策分析などを行っています。様々なバックグラウンドを持った15名程のスタッフが働いています。

毎年夏に、インターン（エコノミスト、広報）を募集しており、2016年度は、入谷聡子さん（エコノミストインターン）、飯田早紀さん（広報インターン）が約2ヶ月間インターンを行いました。そこで、今日は2人にインターンで体験したこと、感じたこと、得たことについて10の質問をぶつけてみました。

（国際通貨基金 以下 IMF、アジア太平洋地域事務所 以下 OAP）

執筆・編集：飯田早紀



入谷聡子：エコノミストインターン

神戸大学国際協力研究科修士課程修了
University of East Anglia
神戸大学国際協力研究科博士課程在学中



飯田早紀：広報インターン

早稲田大学法学部卒業
東京大学公共政策大学院在学中

2016年のスケジュール



▼仕事場からの眺望

日比谷公園を見渡せる見晴らしのよい部屋で作業を行いました。スタッフの皆さんの差入れが密かな楽しみでした。



▼インターン同窓会

過去・現在のインターンが集まり、現在のお仕事の様子を聞いたり国際機関での就職のアドバイスをいただいたりしました。



▼グローバルフェスタ

IMF を多くの方々知ってもらうため、クイズを用意し正解数に応じてオリジナルグッズをプレゼントしました。

Q1. ご自身の専門と応募動機について教えてください。

入谷 干ばつなどの災害に対し、世帯がどのようなリスク対処戦略を取っているか、ミクロ経済の手法で分析しています。卒業後の進路として、国際機関での政策指向型の研究に興味があったため応募しました。

飯田 外交や開発援助など国際的な政策課題に対応するべく、国際政治や国際法を中心に勉強しています。以前、他の国際機関でインターンした際に「国際機関ごとにカラーが異なるので複数の機関をみたほうがいいよ」というアドバイスをもらい、応募を決めました。

Q2. 面接ではどんなことを聞かれましたか？

入谷 専門性の高い質問はあまりなく、「困難に直面した時にどのように対処しましたか？」、「仕事をする時に大事にしていることはなんですか？」など、研究分野に対し関心を持って意欲的に取り組めるか、という基本的なスタンスを見られていたと思います。

飯田 私も、自己紹介・応募動機といったオーソドックスなものが中心でした。一番印象に残っているのは、「周りの人にどんな性格だと言われることが多い？」という質問です。また、「IMF はどんな活動をしているか簡単に説明してください」という質問があり、言葉に詰まったのを覚えています。

Q3. 2 人を指導して下さったスーパーバイザーはどんな方でしたか？

入谷 2 人のエコノミストの方にスーパーバイザーとして指導して頂きました。専門が異なる私の質問にも丁寧に答えて下さったり、私の意見に耳を傾けて下さったり、共同研究をするのがとても楽しかったです。

飯田 情熱と責任を持ち、楽しんで仕事をしていらっしゃるように感じました。「広報とはどんな仕事か」に始まり、彼女の経験も踏まえ、社会人として必要なスキルも熱心に教えてくださいました。

Q4. お 2 人の仕事内容は？

入谷 自然災害がマクロ経済の成長へどのような影響を与えているのかについて、スーパーバイザーと私の計 3 人で共同研究を行いました。毎日、全員で詳細なミーティングを行いながら、私は主に計量分析に必要なデータの収集と分析をしていました。

飯田 10 月に開催されたグローバルフェスタ出展の準備や、このインターンレポートの作成に取り組みました。実際の業務を経験させてもらえるのが OAP でのサマーインターンの魅力だと思います。

Q5. 過去のインターンと交流する機会はありますか？

入谷 はい、年に数回、これまでのインターン生が集まる同窓会が開催されます。国際機関での就職に関心がある方々が多く、情報交換やモチベーションの維持にとっても良い機会でした。

飯田 そうですね。既に企業で働いている方や、IMF 本場でインターンをしている方など、貴重なお話を聞くことができ、将来目標とするキャリアパスをより具体的なものにすることができました。

ここで、2015 年エコノミストインターンのノア・タウクさんにも聞いてみました。彼女は、昨年のインターン後にワシントン本部でもインターンを経験し、現在は OAP でコンサルタントとして働いています。

それではノアさん、昨年の OAP での経験は本部でも活かされましたか？

ノア はい、本部でのインターンというポジションを得る上でも、実際の仕事スキルの上でも存分に活かすことができました。OAP でのインターンを通して、既に政策指向型リサーチの手法や IMF 内部での仕事フローを学んでいたもので、本部でのインターンにも自信を持って臨むことができました。また、IMF ではどのような研究テーマが好まれるかを知っていたことも大きかったと思います。



▼ 職場（左から入谷さん、飯田さん、ノアさん）

Q6. インターン中、特に印象に残ったことは何ですか？

入谷 自分が想像していた以上に、IMF が様々なテーマの研究をおこなっていたことです。金融や貿易などの研究をしていると思われがちですが、不平等やジェンダーといった分野の研究も増えているし、関心を持っているエコノミストの方々も多いんです。自分が貢献できそうな分野も含めて、IMF のエコノミストが書いたワーキングペーパーを読んでみるのもいいかもしれません。

飯田 私はもちろん、10月に開催されたグローバルフェスタです。IMFをより多くの方に知っていただくため、クイズやノベルティを作るなど、このイベントに向けてずっと準備を続けてきました。本当に試行錯誤の連続だったので、「クイズ楽しかったよ」「IMFっていろいろな活動を行っているんだね、分かりやすかった」と言っていたときの嬉しさといったら、ここでは表現しきれないくらいです。

Q7. では、大変だったことはありますか？

入谷 データを扱う際のエクセル操作に一番苦労しました。また、2か月間という短い期間で研究を進めなければならなかったのもプレッシャーでした。そんな時は、スーパーバイザーの方々が親身に対応くださったので、とても有り難かったです。

飯田 どの仕事も楽しんでできたので、大変だったという記憶はありません。最初はできないことも多いのですが、日々成長を実感できたので、自分自身もその成長が楽しみでした。

Q8. インターンを通して得られたことは何ですか？

入谷 やはり、“国際機関で働くという心構え”を身につけられたことが一番大きかったと思います。インターン中はOAPのスタッフの方だけでなく、色々な方からお話を伺う機会がありました。国際機関で生き残るには、職員の方々との人脈作りが大切です。私はとても苦手な分野だったのですが、OAPでのインターンを通して徐々に克服することができました。

飯田 インターン開始前は国際機関で働けたらいいなと漠然と夢を描いていただけでしたが、その夢を具体的なものにできたのが大きな収穫です。“国際機関で働くとはどういうことか”、“自分にはどのような道があるのか”など、スタッフの方々のお話を伺い、将来の夢を実現させる大きな一歩を踏み出せたと思います。同じ志を持つ聡子さんと仲良くなれたことも大きな財産です。

Q9. 将来の夢を教えてくださいませんか？

入谷 まだまだ模索段階ですが、貧困や不平等に関する問題について、研究機関や国際機関で研究を続けていければと思っています。

飯田 大学や大学院で研究してきた知識をベースとして、国際機関で開発や環境分野での貢献ができればと考えています。

Q10. 将来のインターン候補生に向けてメッセージをお願いします。

入谷 とてもオープンでフレンドリーな方ばかりなので、積極的にいろんな方に話を聞きに行き、OAPにいる機会を最大限に活かしてください。研究で忙しい時期かもしれませんが、より多くの方々に挑戦していただければと思います。

飯田 OAPにおけるサマーインターンは、実際の仕事を体験する中で自分自身のスキルアップにもつながることに加え、国際機関で働きたいという夢をもつ学生にとっては先輩方のお話を聞くチャンスにも恵まれているため、とても貴重な機会です。

最後に、入谷さん、飯田さんのスーパーバイザーからそれぞれコメントをいただきました！

入谷さんのスーパーバイザー

入谷さんは、共同研究を行うにあたり必要なチームワークを大事にして、かつコミュニケーションを積極的にとってくれたのが好印象でした。また、自然災害の被害額に関するデータを入手するため他の国際機関と積極的に交渉してくれるなどの強さも見せてくれました。限られた期間のなかでワーキングペーパーを作成するにあっても、非常に熱心に取り組んでおり、研究の方向性を検討するための議論でも多くの有意義なコメントを出してくれました。

飯田さんのスーパーバイザー

今年は久しぶりにグローバルフェスタ用にIMFクイズを大々的にリニューアルしてもらいました。クイズの作成にはかなり苦労をしたと思いますが、事前にいろいろな人にクイズをしてもらい、試行錯誤を繰り返しながら作成したので、クイズの参加者からも大変好評でした。自分のアイデアも盛り込むなど、積極的に広報業務に取り組んでいました。今回のインターンで経験し学んだことを活かして、いろいろなことにチャレンジしてください。



▼インターン最終日 @事務所エントランス